

診療報酬の審査支払機関の在り方について

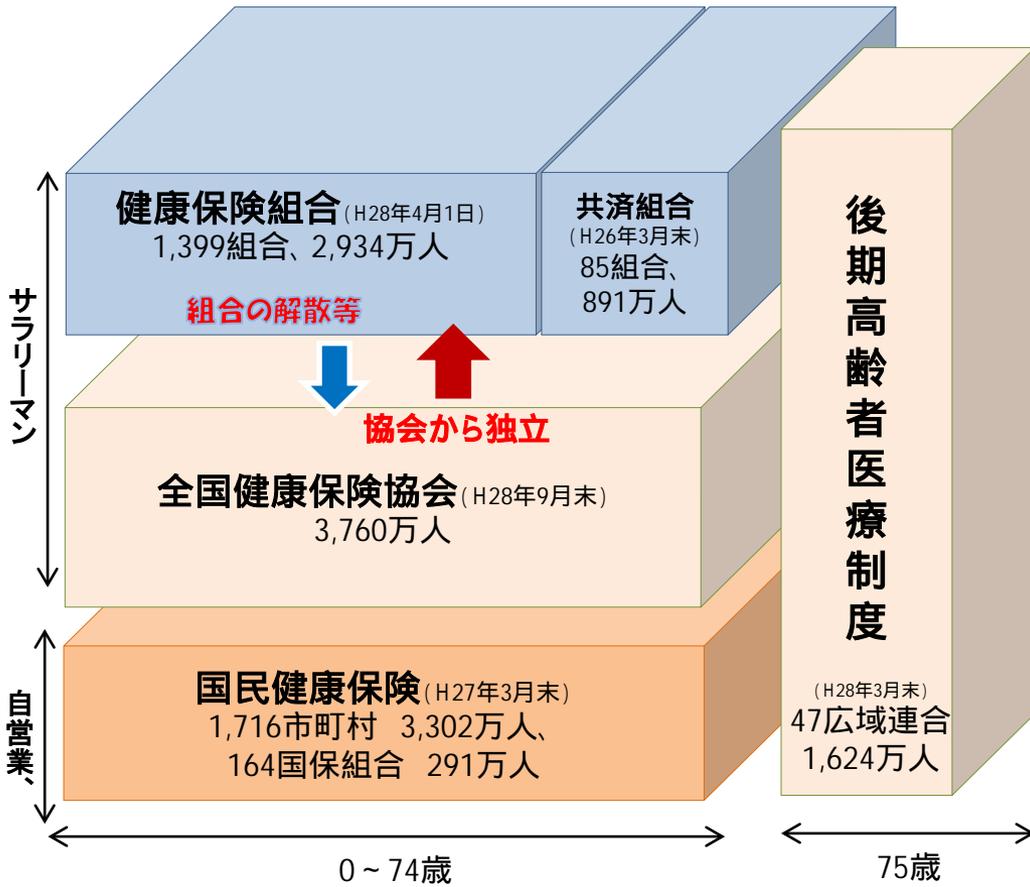
平成29年 3月23日

協会けんぽの位置付け

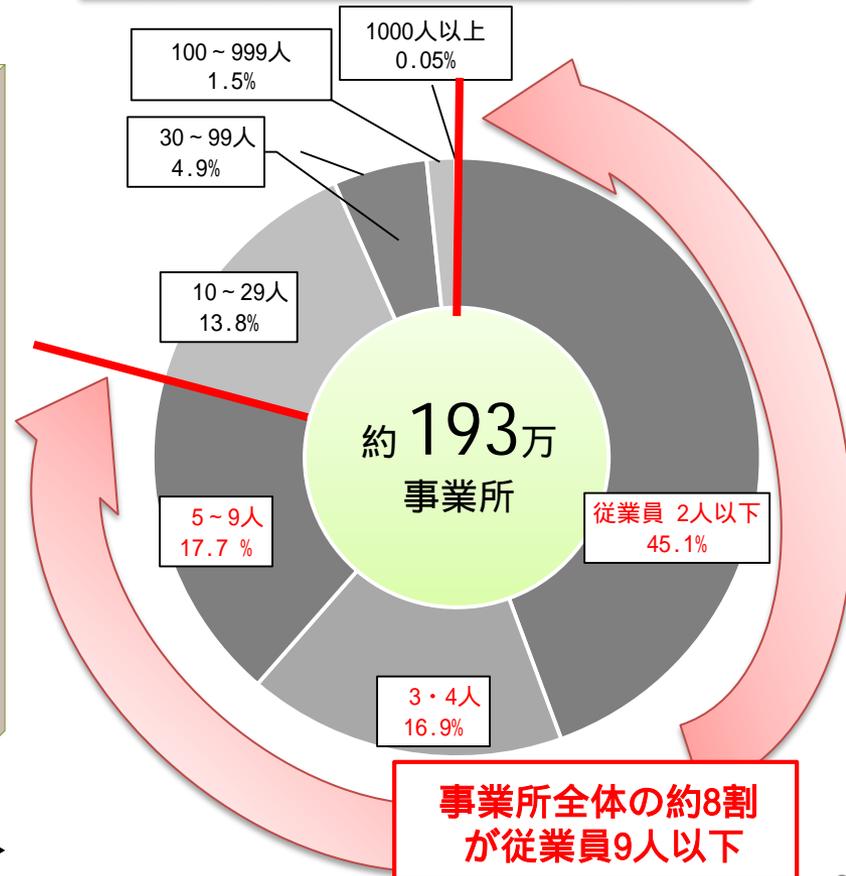
制度の設計として、サラリーマンは原則として協会けんぽに加入し、独立して医療保険事業を実施できる企業が健康保険組合を設立できる。

- (参考) 協会けんぽの規模
- ・ 3,800万人 (国民の3.3人に1人) が加入
 - ・ 中小企業・小規模事業所が多く、事業所全体の約8割が従業員9人以下

各医療保険者の位置づけ



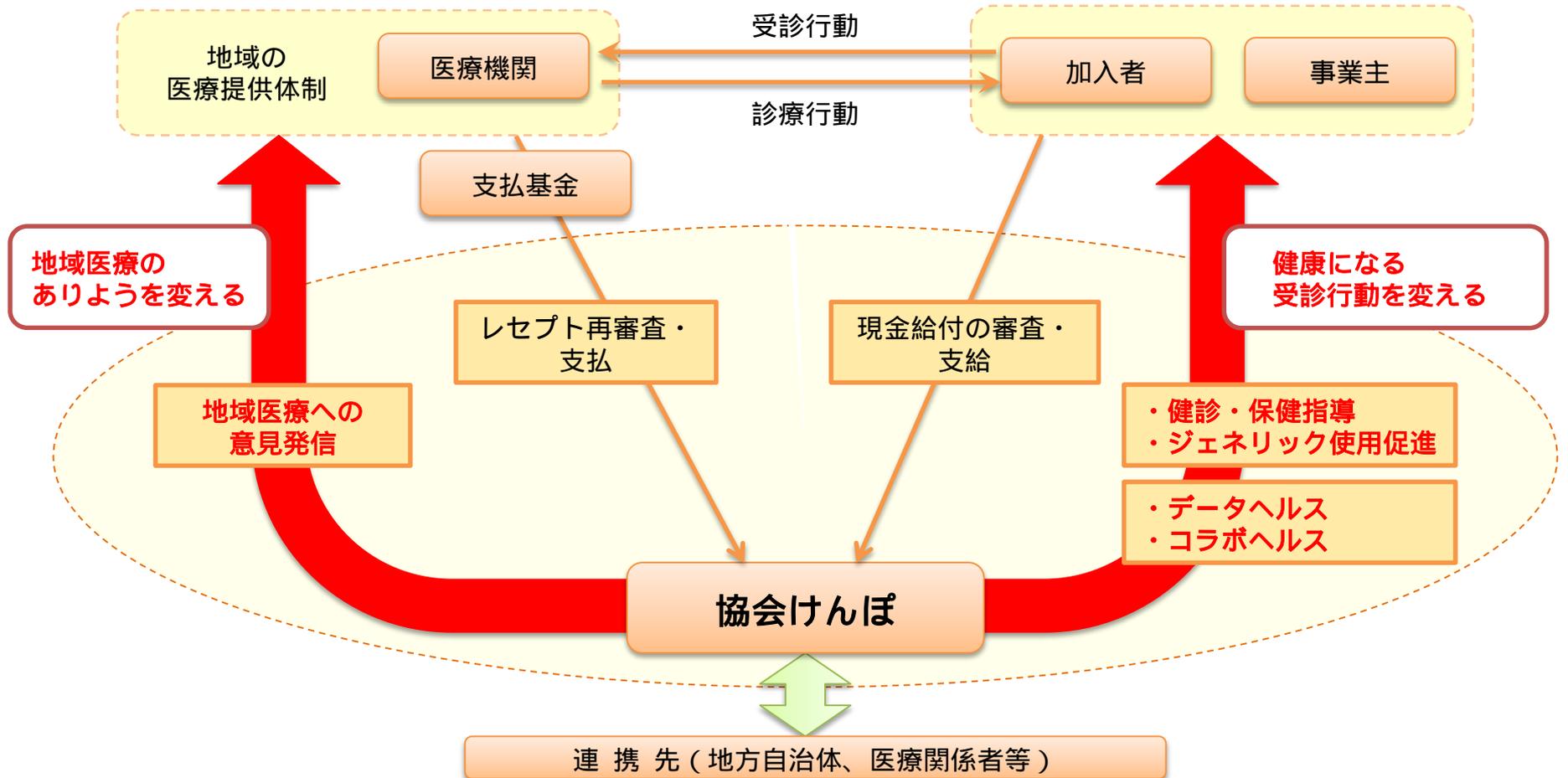
協会の事業所規模別構成 (28年9月末)



保険者機能の発揮・強化の取組み

保険財政の運営、現金給付の審査・支給、レセプトの再審査・支払という従来からの活動に加え、加入者の健康づくり、医療費の適正化等の活動を推進している。

今後の高齢化等による医療費の一層の増嵩が見込まれる中で、受け身の従来からの活動では医療費の適正化はあまり期待できず、保険者から加入者・事業主、地域の医療提供体制に働きかける能動的な活動ウェイトを上げていく。



基本的な視座

審査（支払）機関としての機能

（制度上の機能）

- ｜ 審査

（ピアレビューによる審査の事実上の機能）

- ｜ 不正請求の抑制
- ｜ 厚生労働省とともに、現在の医学・医療水準に即した保険診療の範囲の確定
- ｜ 紛争の調停ないし裁定

審査サービスに求められること

- ｜ 審査の質の高さ
- ｜ 審査の効率性
- ｜ コストの低減

協会けんぽの特殊性

- ｜ 支払基金の取扱いレセプトの4割強を協会けんぽが占める

診療報酬の審査支払機関の在り方について

支払基金に係る課題とその改善策について

診療報酬の審査の効率化・統一化のあるべき姿について

【基本的な考え方】

レセプトの電子化・オンライン化が終了したところであり、コンピューターシステムを基本とした業務プロセスに変えていくことが必要。

支部間の審査の違いについては、ルールの統一化を行うとともに、各支部ごとの審査委員会の判断の一元化の措置をとるべき。

支払基金に対するガバナンスの考え方について

【基本的な考え方】

現在の支払基金は、制度の中における位置付けがあいまい。

現状は、理事会、保険者との審査手数料交渉によるチェック。

保険者機能の発揮について

【基本的な考え方】

本来、審査支払機関があるのに、保険者が再度レセプト審査を行うということは二重投資であり、紙レセプト時代の名残り。

しかし、現実問題としては、なお保険者によるレセプト審査の必要性は残っており、協会けんぽとして重点的に取り組んできたが、支払基金の改革が進めば、再検討が必要。

支払基金取扱レセ枚数(全体)・協会分レセプト枚数

年度	支払基金取扱レセプト枚数(全体) 千枚	協会分レセプト枚数(健康保険) 千枚	全体に占める割合%
平成23年	911,620 千枚	375,446 千枚	41.2%
平成24年	939,241 千枚	381,963 千枚	40.7%
平成25年	951,243 千枚	388,030 千枚	40.8%
平成26年	976,312 千枚	400,624 千枚	41.0%
平成27年	1,015,550 千枚	419,118 千枚	41.3%
平成28年(第3四半期まで)	782,145 千枚	321,218 千枚	41.1%

出典元: 基金ホームページ抜粋(種類別診療報酬確定件数及び対比表)

支払基金診療報酬請求額(全体)・協会分診療報酬請求額

年度	支払基金診療報酬請求額(全体) 百万円	協会分診療報酬請求額(健康保険) 百万円	全体に占める割合%
平成23年	10,407,072 百万円	4,166,079 百万円	40.0%
平成24年	10,624,999 百万円	4,255,523 百万円	40.1%
平成25年	10,847,786 百万円	4,383,526 百万円	40.4%
平成26年	11,148,112 百万円	4,556,680 百万円	40.9%
平成27年	11,722,769 百万円	4,888,346 百万円	41.7%
平成28年(第3四半期まで)	8,808,825 百万円	3,712,699 百万円	42.1%

出典元: 基金ホームページ抜粋(種類別診療報酬確定金額及び対比表)

支払基金審査事務手数料収入(全体)・協会分審査事務手数料支出

年度	支払基金審査手数料収入(全体) 百万円	協会分審査事務手数料支出(健康保険) 百万円	全体に占める割合%
平成23年	77,776 百万円	31,963 百万円	41.1%
平成24年	78,526 百万円	32,070 百万円	40.8%
平成25年	77,859 百万円	31,812 百万円	40.9%
平成26年	78,790 百万円	32,410 百万円	41.1%
平成27年	77,799 百万円	32,173 百万円	41.4%
平成28年(第3四半期まで)		24,295 百万円	

出典元: 基金ホームページ抜粋(事業報告書: 5 管掌別事務費収入状況)

協会分 支払基金一次査定率・協会再審査査定率

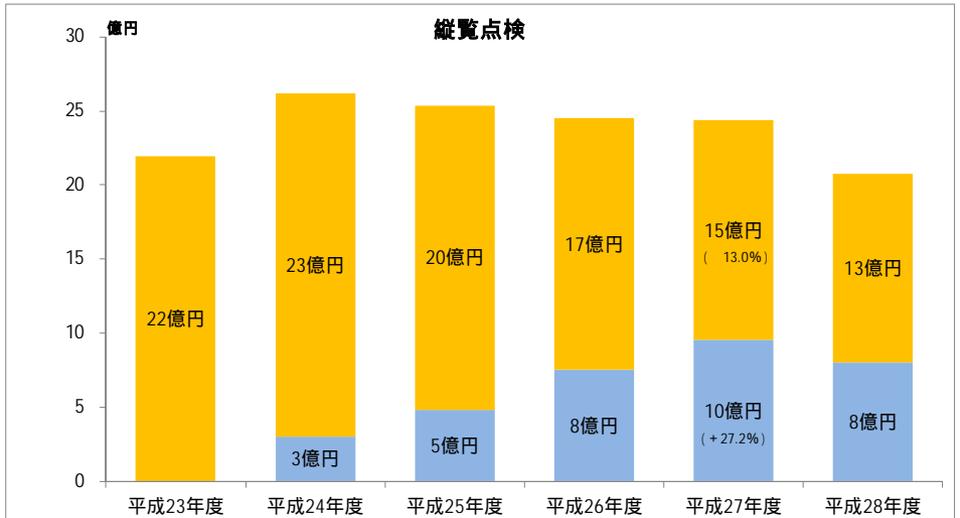
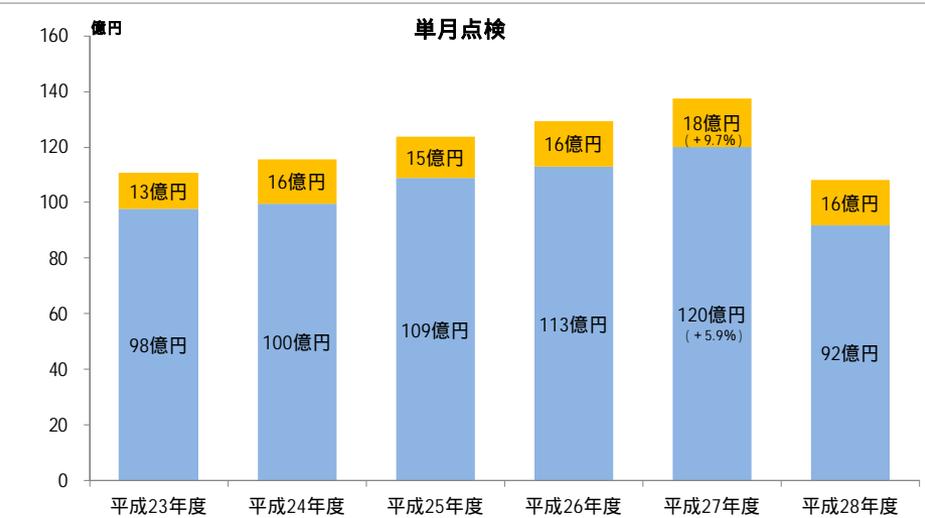
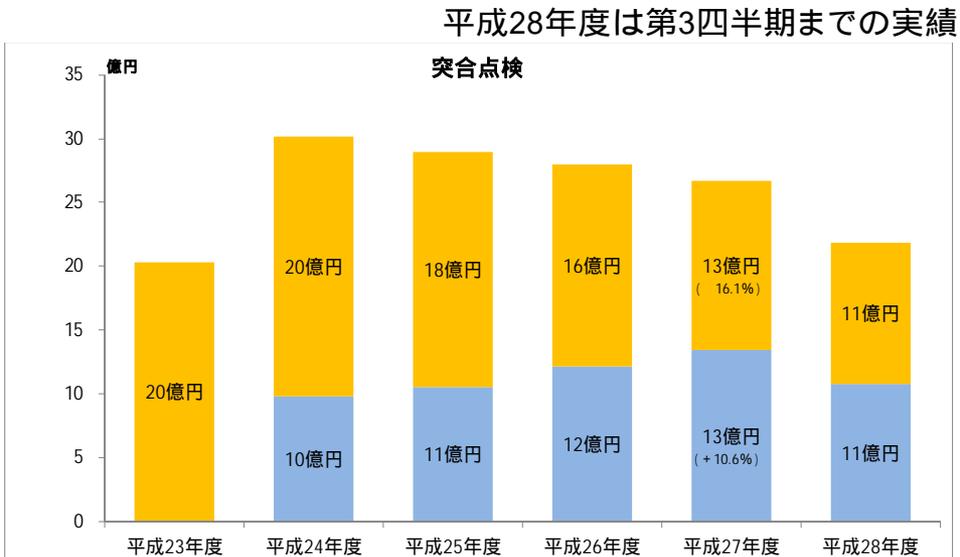
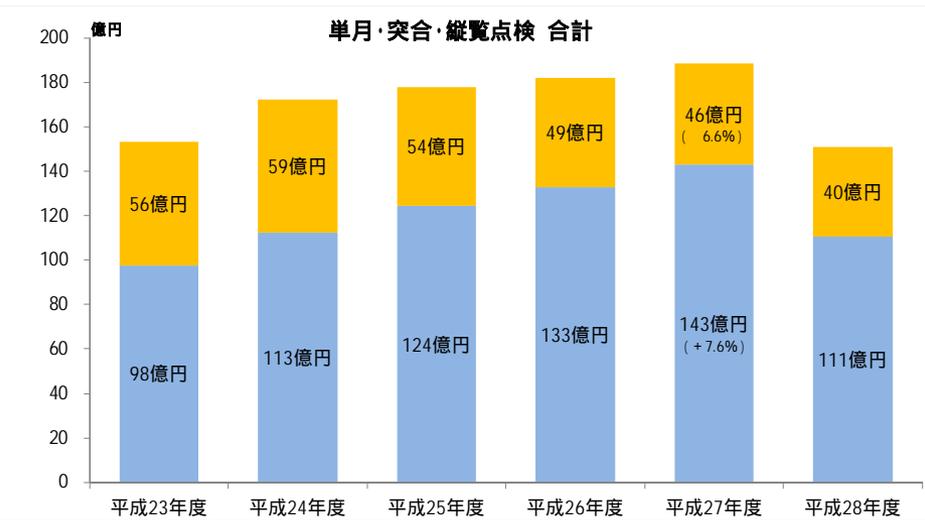
年度	協会分支払基金一次 査定率(健康保険) %	協会分協会再審査 査定率(健康保険) %	合 計
平成23年	0.227%	0.127%	0.354%
平成24年	0.250%	0.132%	0.382%
平成25年	0.272%	0.116%	0.388%
平成26年	0.281%	0.104%	0.385%
平成27年	0.290%	0.095%	0.385%
平成28年(4～11月)	0.289%	0.106%	0.395%

出典元: 基金ホームページ抜粋(支払基金における審査状況(総括))

$$\text{査定率} = \frac{\text{査定金額}}{\text{診療報酬請求額}}$$

点検種類別診療内容等査定効果額(医療費ベース)の推移

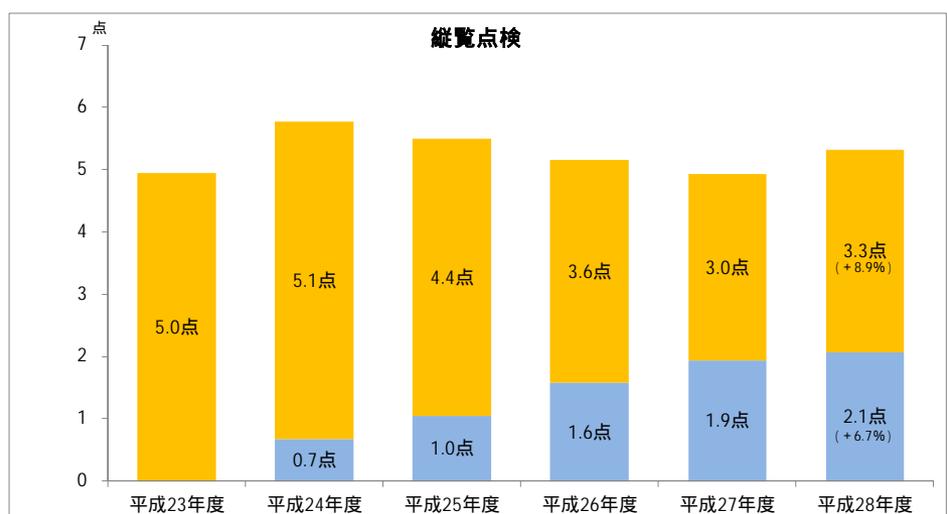
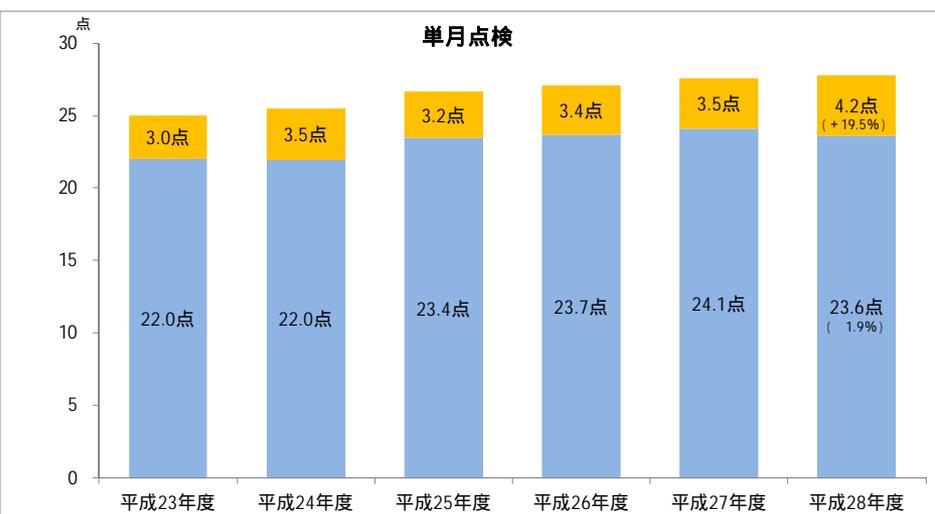
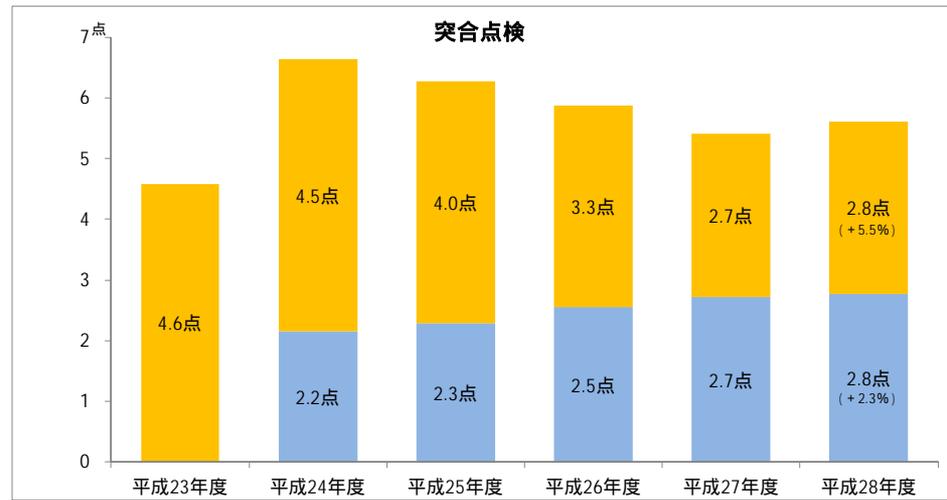
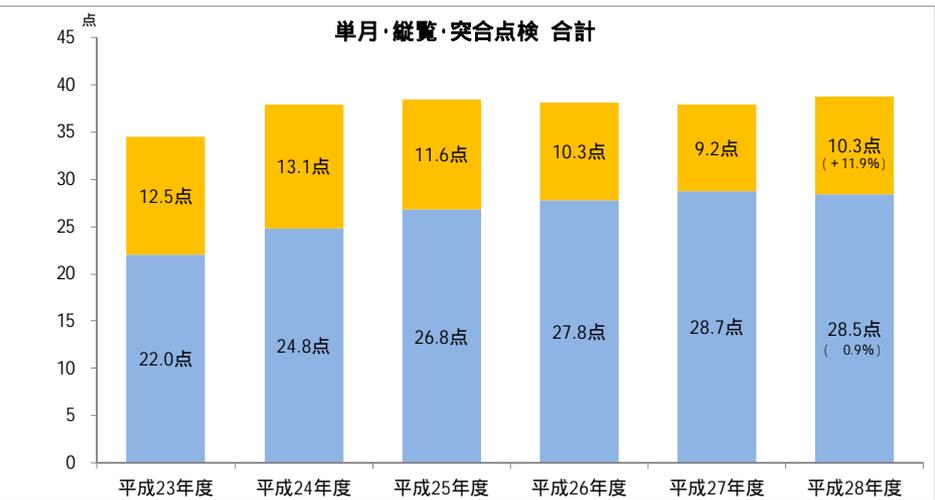
■ : 支払基金一次審査 ■ : 協会点検による再審査



点検種類別の請求一万点あたり査定点数の推移

■ : 支払基金一次審査 ■ : 協会点検による再審査

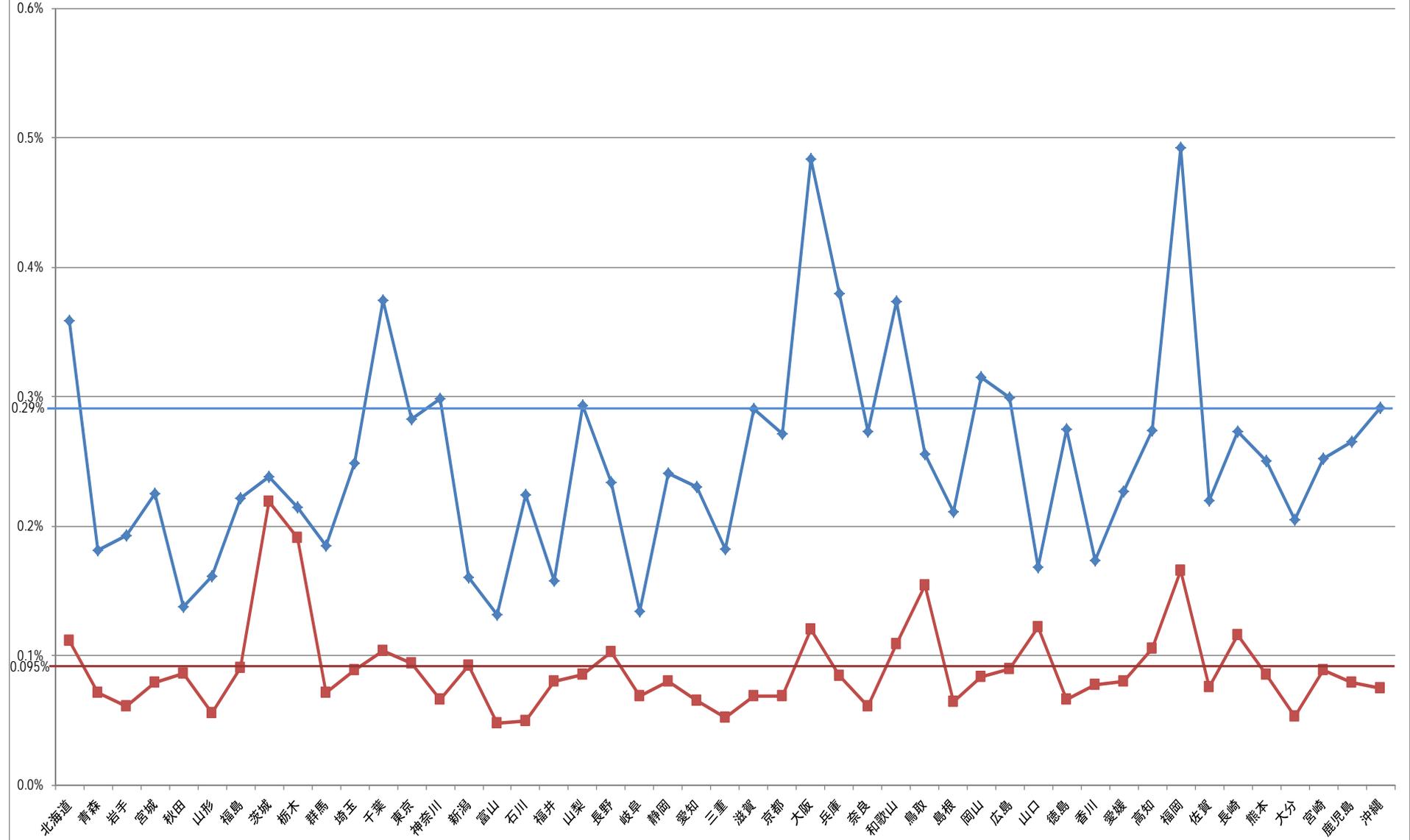
平成28年度は第3四半期までの実績



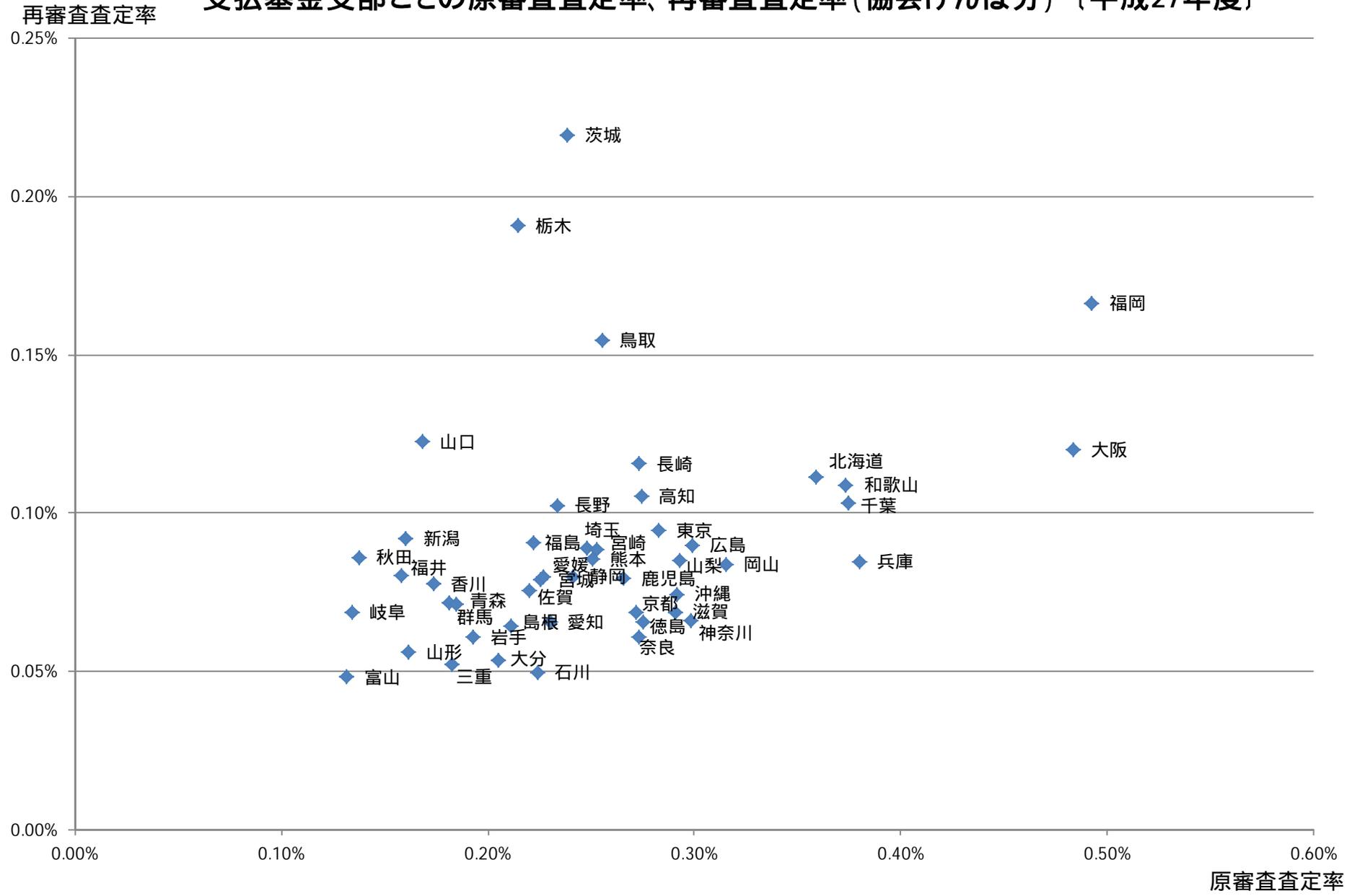
$$\text{請求一万点あたり査定点数} = \frac{\text{査定金額}}{\text{診療報酬請求額}} \times 10,000 = \text{査定率} \times 100$$

支払基金支部査定率(協会けんぽ分) (平成27年度)

◆ 原審査 ■ 再審査



支払基金支部ごとの原審査査定率、再審査査定率(協会けんぽ分)〔平成27年度〕



制度別の再審査査定率(単月点検)の月別推移【医科歯科計】

